

# 平成28年度活動計画書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

特定非営利活動法人 人と動物の共生センター

## 1. 活動の計画

全国への発信力があり、他の主体が模倣したくなるような事業を構築することによって、ソーシャルインパクトの増大を目指す。模倣したくなるような事業のモデルケース作りとして、法人設立6年度目の本年度は、保護団体・啓発活動と連動させた、犬の雑貨屋の運営に力を注ぐことによって、発信力を高めていくことに主眼を置く。

しつけ教室事業を進展（必達課題・最優先課題）させるとともに、保護及び譲渡事業を『他団体との相互協力』、『高齢者の飼育問題への対応』の形で本格化させていく。情操教育事業として、年3回の小学生向けイベント企画を実施し、犬猫との関わり方についての啓発を行う。他団体との相互協力としての資金提供、情操教育事業の資金調達を目的に、商品代金の10%が寄付になるCRM（コースリレティッドマーケティング）を意識した犬の雑貨屋をオープンさせる（第1優先課題）。企業に対するCSRの推進のアプローチについては、昨年度実施したようなシンポジウムは企画せず、各種調査を学会等で研究発表していきながら、企業とのつながりを作っていくことに注力する。情報提供及び相談事業については、これまで行ってきた動物行動学勉強会を発展させる形で、動物行動学にとらわれないセミナー年2回以上開催していく。その中で地元ペット関連企業とのつながりを作り、発信力を強化していく（第2優先課題）。また、セミナーの開催等の形で、自然災害等の援助活動事業を実施していく。

## 2. 活動の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(人)	直接受益者 (人数)	活動計算書の事業費の金額 (千円)
					間接受益者 (人数)	
愛玩動物のしつけ教室の企画運営事業	ドッグ&オーナーズスクールONELifeを中心に、ドッグトレーニングに関する情報・技術の教授を行う。地域のペットショップと連携した、しつけの重要性の周知を行い、連携できるショップを増やしていく。	通年	ONELife	5人	犬の飼育者 (のべ4000組) 犬の飼育者の近隣住民 (不特定多数)	18,300
愛玩動物の飼養方法についての情報提供及び相談事業	動物行動学とトレーニング勉強会を発展させ、より幅広い情報提供を行っていく。行動学に興味のあるトレーナーだけでなくトリマーやショップスタッフなどに対するの周知を行い、業界全体の知識レベル向上を目指す。	通年	ONELife 貸会議室等	2人	動物業従事者 一般飼い主 (のべ150人) 動物の飼育者	315
飼養困難に陥った、愛玩動物の保護及び譲渡事業	犬の雑貨屋をオープンさせ、その売上の一部を用いて、地域の保護団体への寄付とし、相互協力関係を築いていく。また高齢者とペットの問題について、シルバーペットライフサポートの事業化に向けた調査を行い、10月以降でのサービスインを目指す。	通年	ONELife	2人	保護団体 (5団体・50人) 飼育困難者 (200人)	1,070
愛玩動物の飼養を通じての情操教育事業	小学生を対象とした、動物との関わりを考えるイベントを年4回実施する。これまで実施してきた、めざせ！犬博士・ペットマスター、保健所見学、譲渡会等を組み合わせ、小学生が体感で動物とのかかわりについて学ぶことの出来る機会を提供する。	通年	ONELife ぎふメディア コスモス 岐阜市保健 所 他	3人	小学生 (300人) 広く一般 (不特定多数)	490
自然災害等の危急時における愛玩動物の一時的保護、援助活動事業	一般の飼い主と動物業従事者を対象とした防災セミナー・イベントを開催する。各種防災関連団体と連携し、東海東南海地震に備えたネットワークを築き、情報交換を行う	通年	ONELife 他	3人	飼い主 動物業従事者 (50人) 広く一般 (不特定多数)	138
殺処分問題に関する調査、研究事業	保護及び譲渡事業に関連して『CRMの効果について』『高齢者ペット飼育の課題について』を研究していく。学会等での発表を目指す。	通年	ONELife	1人	ペット関連業 従事者など (100人) 広く一般 (不特定多数)	200

(2)その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の 予定人数 (人)	受益対象者 の範囲	支出見込 額(千円)
					予定人数(人)	